



# THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA  
 1-5-6 TOSABORI, NISHIKU,  
 OSAKA, JAPAN

2006年9月 No.292  
 Chartered July 20, 1982

主 題 Y ' s THEME ( 2 0 0 6 ~ 2 0 0 7 )	
センテニアルクラブ会長	『たのしくなければ、センテニアルじゃない!!』
国際会長	『愛をもって 積極参加』
アジア会長	『参画、そして感動を!』
西日本区理事	『一人はみんなのために、みんなは一人のために』
中西部部長	『いざ立て! 熱き思いをいだいて』

クラブ役員 Officers	
会長	: 坂本 哲朗
副会長	: 永島 寧
書記	: 石津 雅人
会計	: 藤原 正巳
ネット会長	: 坂本 千春
Y連絡職員	: 鍛冶田 千文

## Biblical Message of September

こういうわけで、わたしたちもまた、このようにおびただしい証人の群れに囲まれている以上、すべての重荷や絡みつく罪をかなぐり捨てて、自分に定められている競走を忍耐強く走り抜こうではありませんか、信仰の創始者または完成者であるイエスを見つめながら。

(ヘブライ人への手紙 12:1, 2a)

### 「楽しくなければ、ワイズじゃない」

谷川 寛

坂本新会長の掲げた新年度のスローガンは、実にタイムリー的を射ています。ワイズは楽しくなければ、人は集まりません。

先日の京都キャピタルクラブとの合同例会では、京都のメンバーがワイズを楽しんでいる姿を見ました。このことが、新しいメンバー、しかも、若いメンバーを集めるのに成功している秘訣かもしれません。私たちのクラブは、今まで地道な生き方を進めてきました。それはそれで大変尊い進め方でした。今や、メンバー増強が大きなテーマです。他のクラブとの合同例会を含めて、新しい企画は、私たちにない点を学ぶよい機会です。

若い会長をサポートして、「楽しい」クラブにするよう心がけましょう。そして、メンバー増強に努めましょう。

### ファンドづくりのオークション開催

当クラブの財政事情の改善のため、例会でオークションを開くことにしました。皆様のご協力をお待ちしております。

### 【クラブ統計 Statistics】

2006年7月	種 別	第1例会	第2例会	BFポイント	ニコニコ献金
在籍会員 16名	メ ン	9名	6名	7、8月:切手 120g.	8月: 10,000円
例会出席 11名	メネット	5名	1名	現金 0円	(06年7月からの累計):
うちメアップ 2名	ビジター	1名	名	(06年7月~07年6月の	累計: 30,000円
出席率 68.8%	ゲスト	1名	名	累計) 切手 120g	
	合 計	16名	7名	現金 0円	除く。クリスマス献金、オークション、記念献金

## September Club Meeting 『 M e n e t t e 』

### 9 月 第 1 例 会

日時: 2006年9月20日(水) 18:30~20:30  
 場所: リガグランドホテル 3階 葵の間

- 司 会 坂本 千春 ネット会長
1. 開会点鐘 坂本 哲朗会長
  2. ワイズソング 一 同
  3. ゲスト紹介 坂本 哲朗会長
  4. 山村利子メネット 入会式
  5. 聖句朗読 福永 嘉彦君
  6. 日々の糧・晚餐 一 同
  7. 06~07年度予算の審議 藤原 正巳君
  8. スピーチ「アンチエイジングと食について」  
池田 祐子さん(いけだ ゆうこ)  
食育指導士 元YMCAスタッフ
  9. インフォメーション
  10. お誕生祝い・ニコニコ献金
  11. 閉会点鐘 坂本 哲朗会長

### 9 月 第 2 例 会

日時: 2006年9月27日(水) 18:45~20:30  
 場所: 大阪YMCA土佐堀館 3階

- \* 9月例会当番  
 2班(藤原、畠中、新保、福永の各メン)
- \* 9月お誕生日 永島 ネット 3日、藤原君 14日  
 新保君 21日

### 10月ハイキング例会のお知らせ

と き: 10月21日(土)  
 コース: 京都・洛北宝ヶ池の周辺散策後、「ゆば料理」のランチ。ご予約ください。

## 今月の聖句に寄せて

私たちは、猛暑が過ぎた後の爽快な思いで、9月を迎えています。教会の伝統として、教会学校では、9月最初の聖日を振起日 (rally day) と呼び、神様への信仰を奮い立たせ、元気を出して歩み出す日として守っています。欧米では、長い夏休みを終えて9月から新年度が始まるのに合わせて、rally する (共同的活動のために再び呼び集められ、勢力を盛り返して活動する) 日として心新たに再出発する伝統があると言われています。私たちとしても、私たちの国際憲法にある綱領を再度吟味しつつ、これからもお互い更に活動し続けることを願いたいものと思います。

聖句選・コメント： 福永 嘉彦

## 7,8月BFニュース

### Report of the Brotherhood Fund in July & August

山田 孝彦

切手提供者：山田、谷川、隅田、福永、三浦君 計120g  
7,8月の殊勲賞：山田君 80g

## 8月第1例会

### Report of the August Club Meeting

6年8月19日(土) 1900~21:00

京都市・知恩院前 和順会館内「華頂」

松浦 孝次

### 楽しくなければ、ワイズじゃない!

京都キャピタルクラブとの納涼合同例会を、京都の知恩院三門前の日本料理店で開催しました。坂本哲朗会長の積極的なイニシアティブで実現したものです。同クラブのチャーターは1983年9月で、わがクラブの1年あと。しかし在籍メンバーは30人近く、若さあふれるクラブです。

センテニアルクラブからは、メン9人、メネット5人に、ゲストの藤好夫妻 (なかのしまクラブ) が出席。京都キャピタルクラブは、大門和彦会長以下、メン・メネット30人 (ゲストを含む) が出席して、全員が座敷に座って、親しく、にぎやかに交流を楽しみました。

お互いのメンバーを紹介し、クラブバナレットを交換し、神崎清一メン (京都YMCA総主事) による食前感謝のあと、京都料理をいただきました。最初はなごやかに、次第に熱気ムムムと。総勢50人近い人たちが、広いとは言えない座敷であちらよこちらと向き合いました。

「にこにこ」はスピーチした人が献金する仕組みで、わがクラブからは 藤原メンがお座敷芸を披露し、やんやの喝采。また鍛治田主事が大阪YMCAの「表現・コミュニケーション学科」を紹介しました。全員で記念撮影し、坂本会長の閉会挨拶でお開きとなりました。

楽しいワイズ交流ができました。京都キャピタルクラブに厚く感謝します。若々しく、元気一杯の同クラブに学ぶことは多くありますね。



## IBCクラブニュース

IBC・DBC委員長：谷川 寛

### “Aloha from Hawaii”:

ハワイヌアヌクラブ、ブリテンから抜粋

ボウリング大会を開催、新会員獲得を目指す

同クラブでは、8月13日の日曜日、午後2時から4時まで、Ft. Shafter Bowling Alley でボウリング大会を開催されます。会員は、新規会員候補者を同道し、参加するよう要請されていますが、結果が楽しみです。それにしてもボウリング代は1ゲームが2ドル50セント (約290円) とは安いですね。

### “Bauhinia News”

香港 Bauhinia クラブ・ブリテンより抜粋

YMCA プログラムなどへの寄付実施

同クラブでは、Chinese YMCA 子供愛育プログラムへ6,000 香港ドル (約84,000円)、中国極洋博物館へ3,200 香港ドル (約45,000円) の寄付を実施されました。地域奉仕活動は相変わらず活発です。

なお、ブリテンでは新年度の会費納入を呼びかけています。年会費は1,000 香港ドル (約14,000円) となっています。香港のクラブは例会時に食事代を払うのが通常のため、年会費が安いのかもしれません。



## 釜山 国際大会 報告

三浦 直之

第67回国際大会が韓国・釜山で (8月3日~8月6日) 開催されました。参加総人数は約1,600人、日本からは東西合わせて約200人。(センテニアルからは山田、坂本、三浦、坂本メネットの4人が参加)。釜山へは、関空から飛行機で約1時間20分、市内は交通量が多く人出も大勢で、非常に活気があります。

- ・8/3 ペキシコホールで開会式。パナ-セレモニ-は世界のワイズが一同に会してのプログラムで壮観です。
- ・8/4 朝から地下鉄でポモサ(歴史の古い寺)へ。韓国語は全然わからない。1人歩きは特に交通機関(地下鉄、バス等)を利用する時、非常に不安。晚餐会で、東京セントラル(石井氏、谷治氏、田村氏)とDBC交流をしました。
- ・8/5 慶州へツア-へ。古くは新羅の都があったところで、日本と歴史的に非常に関係の深いところです。
- ・8/6 閉会式に出席しユ-スの活動報告を聞きました。夕刻、西日本区ツア-のさよならパーティ-に参加。国際大会に参加して、釜山の人々や町に接して、同じアジア人ということで大いに親しみを持つことができ、大変有意義な時を過ごすことができました。

## Report of the August Club Meeting

8月23日(水) 18:45 ~ 20:40 大阪YMCA)  
出席: 石津、坂本、藤原、三浦、山田、松浦君  
坂本メネット 計 7名

## 1. 9月例会の運営とプログラム

メネットアワー。プログラムは第1面のとおり。坂本メネットを中心にメネットさんたちが運営にあたる。山村メネットの入会式をもつ。

## 2. 10月例会の運営とプログラム

ハイキング例会をみんなで楽しもう。10月21日(土)を第1候補とする。嵐山・嵯峨野か、宝が池か。紅葉にはちと早いかも。担当は隅田メン、メネット。藤原メンがサポートする。歩いた後、おいしい京料理も期待できますよ。

## 3. 06年度の予算案(財政の改善を重点課題として)

藤原会計から、新年度の予算案が提示され、収支改善をはかることを重点に検討した。9月例会で審議・決定する。

財政改善の諸施策を講ずる。新会員の勧誘、例会でのオークション、ファンドづくり(なにをやるか)、祝金などについて検討を行った。みんなで財政改善の工夫と努力をやっていこう! なお、多文化交流キャンプ(8月22~25日)所要資金の不足額20万円について、クラブメンバーからの募金はまだ50%であり、ぜひ協力いただきたい。

## 4. その他 扱った事項

(1) 中西部会(9月30日)の参加登録を確認する。  
(2) 第1例会の開始時刻を18:45とする方向で、9月例会でみなさんの意見を聴く。参加しやすいために。

(文責: 松浦)

## お 知 ら せ

## 1. 土佐堀YMCAカーニバル

11月3日(祝)午前11時~午後3時、土佐堀YMCA会館で開催。当クラブはバザーを担当する予定です。献品をご予定しておいてください。

このカーニバルは環境への影響に配慮し、ゴミ減量対策の一環とし、リユース食器(使い捨て容器を使用せず、洗って利用する食器)を使用します。



21人乗りの大型カヌー2艇に分乗。艇の底からのぞく海底にサンゴ礁が広がる。さわやかな海風に吹かれながら、こぎ手の力もこもる。

## 大阪YMCA国際専門学校 鍛冶田 千文

とさぼりカーニバル、祈禱週、チャリティーランと秋の催しに向けての準備がはじまりました。それぞれの活動に、一人ひとりの思いとYMCAの願いが繋がりますように。

## 早天祈禱会

9月15日(金)7時30分~8時30分  
証し 仲原成岳氏(大阪YMCAスタッフ)

## 中高生のための「命と安全」ワークショップ

文部科学省の委託事業「家庭教育支援総合推進事業」を大阪市家庭教育推進協議会が受け、その支援により土佐堀YMCA地域活動委員会がワークショップ形式で実施します。

10月14日(土)「いのち・誕生」「食育」

12月2日(土)「自然環境」「地域の安全」

1月27日(土) 公開シンポジウム

## 六甲・有馬トレッキング(いきいきシニアの「青年倶楽部」)

10月20日(金)~21日(土) 表六甲から裏六甲を歩きます。六甲山Yに宿泊し、翌日は有馬温泉まで歩き、温泉でゆっくり汗を流します。

## Club Activities (September, 2006)

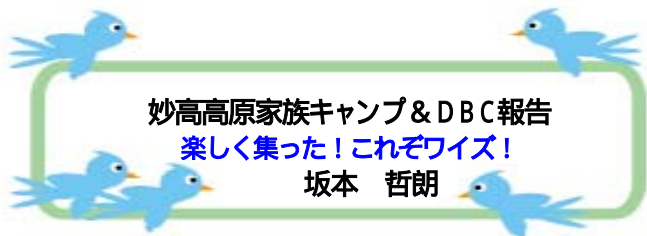
On August 19, a total of 46 Y's men, Y's menettes and Y's men's guests were in attendance at the joint summer evening dinner of the 2 Clubs - the Kyoto Capital and the Osaka Centennial - held at the Japanese restaurant "Kacho" in Kyoto. After introducing each club members, President KAZUHIKO DAIMON of the Kyoto club and President TETSURO SAKAMOTO of the Osaka club exchanged their club bannerets as the token of Y's Men's friendship.

Following the dinner, both club members enthusiastically talked each other over such topics as how to recruit new members and how to raise necessary fund for the management of each club. The Kyoto club is successful in recruiting new young members and also in raising fund which is worth Japanese Yen 800,000 a year. This joint gathering definitely acted as stimulus to our club.

## 渡嘉敷島の海はどこまでも青い



暑い日差しから逃れ  
海に浸る子どもたちの  
自然な笑顔



## 妙高高原家族キャンプ&DBC報告

楽しく集った！これぞワイズ！

坂本 哲朗

## フレンドシップキャンプ in Okinawa

砂に埋まった  
アマジアスクール・  
イ・林ワのマイ  
外・アド 校長  
を囲んで喜ぶ  
子どもたち



中村 茂高

8月22日から25日まで、沖縄・渡嘉敷島の国立沖縄青少年交流の家で、沖縄のアマジアスクールと奈良の在日外国人子弟（ファミリー&ルート）大阪の3養護施設の小学3年から高校生31人、スタッフ総勢48人が参加する「フレンドシップキャンプ」（大阪セテック、関西テレビ 青少年育成事業団主催、大阪YMCA、朝日新聞厚生文化事業団後援）を開催。台風の影響もなく、天候にも恵まれ、畠中彬キャンプ長のもと、全員けが、事故もなく無事終了することができました。

初日、少し緊張しなななか打ち解けなかった子どもたちも、このキャンプのメインでもある2日目の海洋プログラムから大ブレイク。午前中は大型カヌー、午後からは遊泳、その後は夕食のカレー自炊、夜はキャンプファイヤーと大いにキャンプ生活を満喫しました。2泊3日の渡嘉敷島キャンプを終え沖縄本島に戻ったその夜、かつてのスクールの卒業生たちもかけつけてくれ、うたや演奏、ダンスのパフォーマンスを披露。またスクールのセイヤー・ミドリ代表の次男・エディ君が「夢をもつことは大事」と熱いメッセージをみんなにくれるなど感動の場面も。大きくたくましく成長してくれたスクールの卒業生たちを見て、私たちはこれまで続けてきたキャンプの意義、成果を再認識しました。子どもたちは翌朝、那覇の国際通りなどを観光を終え、スクールの子もたちと涙の別れの後、午後2時のフライトで帰阪しました。

今回、大阪の3養護施設から10人の子どもが参加してくれました。かつて孤児院と呼ばれた施設も、ほとんどの子どもたちに親がいます。児童虐待など大きな社会問題を抱える施設の子どもたち。また、沖縄のアメラジアンスクールからは16人が参加。1997年、母親5人でスタートさせたスクールも今や70人が在籍、教師の数も13人にのぼり、当時に比べるとかなり充実してきました。しかしまだまだ閉鎖的の社会に置かれているのが現状です。また、奈良の在日外国人の子どもたちにとっても決して日本は住みよい社会とは言えません。さまざまな社会的ハンディをもつ子どもたちが一堂に集まったキャンプを主宰しながら、一人ひとりの子どもたちが幸せになるために、私たちは何をすればよいのかという命題を突きつけられた思いでした。

### 編集後記

アメラジアンスクールのセイヤー代表の次男エディ君が、昨年、米国の父親の元に3週間滞在したそうです。父親の顔を知らないエディ君の「父親に会いたい」という一念から、自分でメールを打ち承諾を得て渡米しました。

帰国後、「やはり精神的に自立しなければいけない」という思いを強く持ったエディ君は、お姉さんのジャッキーさんとともにクリスチャンになったという話をうかがいました。

中村 茂高

猛暑の大阪から、涼しい妙高高原での3日間は、本当に楽しいひと時でした。

### <第1日目 晴れ>

8/25の朝、三浦メン車と杉浦メン（山田メネット）車の2台の車に分乗し、予定より少し早く9時10分に、大津のサービスエリアに8名が集合した。その後順調に車を飛ばし、尼御前サービスエリアで昼食、その後SAに隣接した公園で、きれいな海の景色を楽しみ、16時には、空飛ぶウザギに到着。部屋に落ち着き、まずは、近隣の温泉で風呂浴びて休憩。18時の夕食の時に、目黒クラブの福島メンの挨拶で、家族キャンプが開村された。今回は、目黒クラブ主催の家族キャンプに、Y'sメンが参加する形で、6クラブ（東京目黒、東京セントラル、静岡、信越妙高、なかのしま、大阪センテニアル）合同例会をもつことができた。卓話、森本二郎（信越妙高メン）が、出版されている妙高の四季折々写真と、その自然写真の話に皆が感動。その後は、スナックタイムで、各クラブメンバーの紹介、その後は、個々メンバーの交流が、夜遅くまでもたれました。

### <第2日目 晴れ>

朝7時から、賛美歌の歌声で、朝の集いが始まり、僭越ながら、「医療機関の仕組みやホームドクターの必要性」をユーマー交えて話させていただきました。朝食後は、路線バスに乗り、笹ヶ峰のトレッキングを森本二郎さんの案内で、妙高高原の自然を満喫しました。その後は、恒例の温泉に行き、少し疲れた体を癒しました。夕食後、キャンプファイヤーで、歌い、踊り、そして花火もして、子供も大人も妙高高原のすがすがしい夜のひと時を楽しみました。その後も、大人だけは、スナックタイムそして、最後の妙高の夜をおしみながら就寝。

妙高山麓  
県民の森を  
トレッキング



### <第3日目 晴れ&夕立>

朝から、各自が周辺の散策、そして朝食後荷物を片付け宿を出発。途中朝市で、新鮮な取れたて野菜を各自買い込み、そして妙高高原教会の礼拝に出席。その後、東京組みの人たちがもう一泊するYMCAのロッジに立ち寄り、ロッジを見学した後、大阪センテニアル組みは、ここでみんなと最後のお別れをして、帰路大阪へ出発しました。帰る途中、何度も妙高高原のすがすがしい気候や今回のキャンプのことを車の中で、話しながら無事に全員が、家路に着きました。ちなみに今回のキャンプは総勢39名の参加者がありました。